

YIA 会員だより 2016年9月号

発行 ; 吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

ホームページURL <http://www.teu.or.jp/kamojima/via/>



9月度 定例活動/他

◆英会話教室

ネイティブスピーカーとしゃべってみましょう!

☆鴨島教室 毎週木曜日 19:00~21:00

初心者クラス木曜日 19:00~21:00

文化研修センター2F.講師:ミッシェルさん

講師:ステイシーさん

お問合せ:後藤田さん(TEL 0883-24-5234)

☆山川教室 毎週火曜日 19:00~21:00

初心者クラス 19:00~19:30

山川公民館 講師:アランさん

お問合せ:長井さん(TEL:090-1575-8634)

☆川島教室 毎週水曜日 19:00~21:00

初心者クラス 19:00~20:00

川島東公民館、講師:ジョンさん

お問合せ:市原さん(TEL0883-24-5052)

定例理事会

日時:9月24日(土) 15:00~17:00

場所:文化研修センター2F

◆日本語教室

【村上教室】(TEL 0883-24-8018)

<鴨島 文化研修センター>

毎週日曜日 13:30~15:30(初級日本語講習)

講師:村上さん、萩森さん、白岡さん、井口さん

毎週金曜日 19:00~21:00(中級日本語講習)

【手塚教室】(TEL 0883-24-1284)

<市場町コミュニティセンター>

毎週日曜日 10:30~12:30

<高川原公民館>

毎週日曜日 14:00~16:00

講師:手塚さん

【8月の活動報告】

◆ 阿波踊り 国際交流連 報告

参加者 総勢108名 内外国人68名

踊る阿呆に見る阿呆、同じあほなら踊らなそんそん。

お昼過ぎ少し激しい雨。夕方集合場所へといそぐ。

ベトナム、タイ、中国からの研修生がたくさん集まって来る。

その子たちに足袋、ハッピ、帯を渡し、着付けも手伝う。

ホールの中はたいへんぎやか。そして外で練習。初めての

子がほとんど。

「ヤットサーヤットサー」

「ヤットヤット」の掛け声

の所ではみんな笑う。

7時、いよいよ演舞場へ。

私も踊る。初めて踊る。

踊りながらみんなを見ると、浮き浮きと踊る子、しつとりと

足を運ぶ子、さまざま。「*○▲※□●~!♡♥☆※

~」私の分からない言葉が飛び交う。

みんな自分の国の言葉で 楽しそうに

友達と笑いながら踊っている。

私はそれを聞きながら前を見る。

演舞場脇の提灯がきれ~。

おはやしの音がきれ~。

5時に来て 9時まで楽しんだみんな。

「ありがとうございました」と言って

帰って行った。(井口和代)



◆ 阿波手漉和紙研修会ボランティア報告

8月16日から20日まで、阿波和紙会館で阿波手漉和紙研修会が開催されました。YIAから 市原、長井、横山、新居の4名が 通訳ボランティアとして参加しました。

今回の研修会には、ヨーロッパ(イギリス、イタリア等)、南北アメリカ(USA、ペルー)、アジア(中国、オーストラリア等)など 世界中から16人の参加者がありました。日本からも Art in Residenceに参加しているアーティストを含めて 3人が参加しました。合計 19人のアーティスト、先生、学生等 色々の職業の方が参加しました。

今回 皮はぎ、塵取り、楮打ち等は木陰に和傘をセットした屋外の作業となりました。紙すきのプロセスははじめはうまくできませんでしたが コツを覚えるとさすがにみなさん上手に紙を作ることができるようになりました。

世界各国から参加者がありましたので、さながら 手漉き和紙を作るための作業をしながらかアートに関する情報交換や国際交流をしているようでした。(新居)



◆新ALTのお出迎え

瀬尾規子



今年、山川町のナディアさんの後任と

してアランさん(Alan Solomon, US
コロラド州)が、鴨島町の新ALTとして



ステイシーさん(Anastasia Tessandore
Stacy, US アラスカ州)がそれぞれ着任
することになり、7月27日にアランさんを、

8月3日にステイシーさんを徳島空港までお出迎えに行きました。吉野川市教育委員会学校教育課の住友課長さん、山本さん始め、現職のALTやYIAのメンバーらが横断幕を掲げて賑やかに歓迎しました。石井町や阿南市、鳴門市などからもお出迎えが来ていましたが、毎回吉野川市が一番熱烈歓迎しています。記念撮影をしたあと、自己紹介をしました。短い時間でしたが、身近に支援者がたくさんいることを知っていただき、きっと安心したのではないかと思います。皆さんも英会話教室などを通して、新しいALTの皆さんとの交流を楽しんでください。

◆ 国際理解講座 アートの世界へようこそ

阿波和紙伝統産業会館では文化庁の国際文化交流促進事業の補助金500万円を活用し、アート・イン・レジデンス(AIR) 事業を始めている。第一回は米国から、クリス・フレイザーさん、愛媛県出身の越智也実さんの二人を受け入れ、同館をアトリエとして提供している。

8月7日に文化研修センターで二人の創作活動について発表してもらった。

越智也実さんはシルクスクリーンを使った版画が専門で、作品をいくつか紹介してくれた。淡いモスグリーンの背景に白い器、ブルーの背景に犬小屋が一つ、などどれもなんということもない風景。ふと通りかかった風景に感情を動かされ、それをじっと眺め、記憶に閉じ込めるような気持ちで製作しているようだ。なるほど、優しい色合いで気持ちをほっとさせてくれる作品ばかり。



クリスさんは光を使った空間表現が専門。窓全体を黒い紙で塞ぎ、その窓に小さな穴が一つ。すると、反対側の壁に外の風景がぼんやりと写し出される。まるで小人になって針孔写真機にもぐりこんだよう。また、穴の近くに白

い紙を近づけると、外の風景がくっきりと写る。その他、光の面白さについて話してくれたが、非常に難しく、芸術に疎い私には横山さんの通訳なしでは理解できない点が多かった。クリスさんは和紙会館で、西洋紙では表現できない和紙独特の表情を楽しみたいとのこと。

なお山川町のJA倉庫および和紙会館で二人の作品展が行われた。(市原)

◆国際理解講座

7月31日(日)に徳島大学准教授のSturge先生から「カナダ人からみた異文化コミュニケーション」と銘打って2時間を超すプレゼンテーションがあった。前半はパワーポイントを使ってわかりやすく、教授が徳島大学の学生と行っている活動の紹介。学生とは、通常の若い学生と開放実践講座のシニアの学生。活動はいろいろな年の人が交流できるように組まれている。今まで訪れたベトナム、ポルトガル、ラトビアなどの学校の子供たちに将来の夢を絵にかいてもらったり、お互いの国の歌や、楽器の演奏をしたり、料理を作って一緒に食べたりして文化交流している様子が紹介された。先生のクラスでは、学生が能動的に活動するよう考えられており、社会に出ても自分で計画をし実践できるようになっている。このような文化交流を通して、お互いの国のことを理解し思いやっている様子は、実に聞くだけでも感動的であった。最後に先生から、皆様も一緒に参加しませんかとのことのお誘いに、もう何人かはすぐに反応をしていた。後半は、これもパワーポイントを使って、珍しいカナダの食べ物の紹介があった。所変われば食べるものも違ってこれまた興味深い。活気を帯びたSturge先生のプレゼンテーションは、誰をも満足させる内容の素晴らしいものだった。

20年以上Sturge先生の生徒であり、友人となっている市原さんの通訳は、あうんの呼吸でわかりやすく好評でした。(横山)



◆外国人お遍路さんを迎えるおもてなし実践講座

お遍路さんを優しく迎えるための要領や英語での話しかけ、挨拶などについて、外国人遍路の研究者であるモートン常慈さん(徳島大学准教授)にお話しいただきます。

日時:平成28年9月17日(土) 14:00~16:30

場所:吉野川市鴨島公民館

主催:NPO法人徳島共生塾一歩会

共催:吉野川市国際交流協会

参加費:無料、参加希望者は直接会場に来てください。

問合せ先:090-1575-2068(徳島共生塾一歩会 新開)